



第2学年移動教室（スキー教室）

1月15日から17日の2泊3日で、新潟県湯沢町の岩原スキー場に、2年生の移動教室に行ってきました。この時期の湯沢は、降雪や吹雪がごく日常的で、東京では味わえない雪国の厳しさを肌で感じられました。そのような中、2日目は午前中曇り、昼頃からきれいな青空が広がり、白と青の美しいコントラストの中でスキーができたのは、生徒たちの思い出の一つとして記憶に残ることでしょう。また一人も脱落することなく練習し、自分ではつきりと上達を実感できるほどになりました。どんなことも、我慢したり粘り強く取り組んだりすることで、その先にある大きな達成感や喜びを得られることを学んでほしいと思います。

報告 竹村 恭介



奥多摩の教育

第239号

発行

奥多摩町教育委員会



町公式ホームページ

奥多摩中の今年度を振り返って

令和7年2月1日現在

児童数 140名

生徒数 63名

教職員数 44名



ブルス ウルトラ!!

ともに励み、ともに燃えろ。奥中魂

5月 体育大会

晴れ空の下、赤・青・黄、伝統の3色の縦割りブロックに分かれ実施しました。各競技や係活動等で3年生を中心にリーダーシップとフォロワーシップが遺憾なく発揮されました。今年度も生徒が主体的に取り組む素晴らしい体育大会になりました。

唯一無二

～音に想いを～



11月 音楽祭

実行委員会を中心に個々、学年、全校の力を十分に発揮した音楽祭でした。今年も各学年の合奏と全校合唱を披露しました。奥多摩吹奏楽団・本校吹奏楽部による演奏や職員合唱もあり、とても盛り上がりしました。

10月ごきげん授業

ごきげんスポーツ教室

スポーツドクターの辻秀一先生の指導の下、アスリート4名と一緒にメンタルトレーニングの考え方を学び、柔道やラグビーで実践しました。



古里小学校 教育活動近況報告 ～令和6年度を振り返って～

教育目標「命を大切に 共に輝き 生きていこう」
かしこく なかよく たくましく

古里小学校は、子供たちの元気な声と笑顔でいっぱいです。全校児童85名の子供たち一人一人が、学習に運動に一生懸命に取り組んでいます。ここでは、今年度の取組の一部をご紹介します。



音読・音楽発表会
全校合唱・全校音読

<表現力向上の取組>

年間を通して詩や九九の暗唱検定を校長室検定と銘打って実施しています。また、学期に数回ずつ音楽朝会（学年単位の発表と全校合唱）と、音読朝会（詩の群読）を設け、自信をもって表現できる子供の育成を図っています。今年度は11月に「音読・音楽発表会」を開催しました。合唱に合奏、そして音読と日頃の学習の成果をたくさんの方々にご覧いただきました。

<体力向上の取組>

学期ごとに実施している体力強化旬間や毎週木曜日のロング遊び（他の曜日よりも長い時間外遊びをすることのできる昼休み）で、外遊びを楽しみながら体を動かす機会を設けています。更に今年度はボルダリング教室（体育館に常設）やバスケットボール教室を開催し、興味関心を高めるとともに多様な運動経験を積ませ、子供たちの体力向上につなげました。



全校でボルダリングに挑戦



3年生が考案したわさびコロツケ
12月の給食メニューに出ました

<体験学習の充実>

地域の自然や文化を生かした教育活動（奥多摩学習）を推進しています。今年度もわさびやしいたけの植え付け、よもぎ団子作り、米作り、ヤマメの飼育、林業体験、落語教室、太鼓や箏指導など、たくさんの方々のご協力をいただき、実施することができました。2月には研究発表会を開催し、生活科及び総合的な学習の時間で実践してきた取組、研究の成果を町内外の皆様に発表することができました。

<英語活動の充実>

今年度は横田基地内メンデル小学校の4年生（75名）を古里小に迎え、4・5・6年生と国際交流学習を実施しました。ALTをはじめ大人のネイティブスピーカーと関わる経験はあっても、子供同士の関わりとなると初めての子が多く、とても新鮮だったようです。その他、TGGでの英語体験学習（5年生）や東京都の事業であるイングリッシュキャラバンの取組に全校で参加するなど、実際に英語を使う活動を多く設定しました。



メンデル小学校との国際交流

氷川小学校 教育活動近況報告 ～令和6年度を振り返って～

今年度も氷川小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今年度の特徴ある教育活動について、近況をご報告いたします。

①縦割り班活動

全校児童を4つの縦割り班に分け、日々の清掃活動や学校行事に取り組みました。高学年が低学年の面倒を自然に見るようになる、氷川小学校の大切な伝統です。

1月21日には、5年生児童が新1年生保護者会にあわせて、来年度入学予定の子供たちの体験入学を企画、担当しました。「立場が人をつくる」と言われますが、お世話をする

5年生の表情と態度は既に最高学年のものになっていました。新入生も安心して4月を迎えてほしいです。



②氷川獅子

「総合的な学習の時間」に地域の伝統文化として継承されている三匹獅子について調べたり、実際に舞ってみたいしています。約20年続く、氷川小学校の伝統的な学習です。今年も運動会、ふれあい祭りで披露させていただきました。3学期が始まり、4年生の教室からも笛の音が聞こえ始めました。憧れの先輩方の姿を想像しながら、来年度に向けての学習、準備が始まっています。



③TOKYOSポーツライフ

推進指定地区の取組

児童の体力向上、運動習慣の定着を目指して「ライフ・キネティック」と「ボルダリング」に取り組みました。ライフキネティックは誰でもできる簡単な動きを通じて脳に刺激を



与え、脳機能の向上と神経伝達機能強化を促すトレーニングです。体育の時間のほかに、

ちょっとした授業の隙間時間などにも取り組める運動で、できないことを楽しみながら進めました。

また、奥多摩クライミング委員会のご協力をいただき、体育館にボルダリングウォール設置し、年間を通して取り組みました。子供たちはあつという間に登れるようになりました。

④奥多摩学習

奥多摩の自然や文化を教材とし、地域の方々との関わりを大切にし、体験を通して学びの楽しさを実感できる学習を充実させています。地域の皆様のご協力があつて成り立つ学習です。下の写真は5年生の林業体験の様子です。



こどもからの 人権メッセージ発表会

12月14日に、日の出町やまびこホールで開催された発表会で、氷川小学校6年生、青柳虎士郎さんのメッセージが発表されましたのでご紹介します。

【感謝の気持ちをもって】



氷川小学校6年
青柳 虎士郎さん

ぼくには、七十五歳の祖母がいます。祖母の家に遊びに行くと、毎回

「今、いく年生だっけ？」

と、何回も何回も聞かれます。ぼくは心の中で「うるさいなあ。」とか「何度も言ってるじゃん。」などと思い、イライラしてしまいます。でも、そこで「うるさいな。」とか「同じこと聞かないで。」などと言ったら祖母が傷ついてしまうので、いつもがまんしています。みなさんは、高齢者との会話をする中でイライラした経験はありませんか。

ぼくの住む奥多摩町や祖母が住む町では高齢化が急速に進んでいます。高齢化について調べてみると、都民の総人口に占める六十五歳以上の人口の割合は二十三パーセントを超えているそうです。僕の住む町にもたくさん高齢者福祉施設があり、納得がいきました。さらに、親族が高齢者に暴言を吐いたり、暴力をふるったりといった問題が起きていることもインターネットで調べて知りました。このことを聞いてぼくはドキッとしてしまった。高齢者に冷たく当たってしまう人の気持ちも分かる気がしたからです。

高齢化について父や母と話をしたら、父に

「小さいころおばあちゃんにたくさん助けられたり、手伝ってもらったりしたでしょ。今度は助けたり手伝ってあげたりすればいいんじゃないの。」

と言われました。その通りだと思います。

高齢者と接するとイライラすることもあるけれど、自分が助けてもらってきたことや、大切な人であることを思い出せば、

イライラを押さえられると思います。ぼくも転びそうになったときに祖母に助けてもらったことや、ご飯をつくってもらったこと、何回も同じことを聞かれたとしても、しっかりと答えてあげようと思います。

みんなが高齢者に対して小さいころにもらったことへの感謝の気持ちをもって接することができたらいいな、と思いました。



西多摩8市町村の小・中学生よる人権メッセージ・作文コンテスト応募作品を発表した児童生徒たち

全国中学生人権作文コンテスト 東京都大会 作文委員会賞 受賞

奥多摩中学校3年生の山田瑛文さんが作文委員会賞を受賞されましたので、ご紹介します。



奥多摩中学校3年
山田 瑛文さん

【誰とでも話す努力を】

言葉が通じない。一人だけ先生から優しくされるといふ不平等が気に食わない。何を話しているのか分からない。と妬んでしまったことがあった。

保育園の時に新しく入ってきた子がいた。その子は言葉を話すが苦手な体質で、あまり喋れなかった。その子は私たちのクラスに馴染むことができなかった。やがてみんな離れていった。その子は最初のころは私たちと話そうとしていたが、幼いということもあり、私たちはその子避け、話す努力をしなかった。結局その子とは関わることもなく保育園を終えてしまった。

保育園を卒園して九年、今年の夏に町の行事でオーストラリアに短期留学をした。そこで私はホストファミリーのお世話になることになった。ホストファミリーは私が英語を全く使えないのにも関わらず、私とたくさん話してくれた。そのお陰で留学はとても楽しいものになった。ただ全員が優しいという訳でもなく、オーストラリアで一人で買い物をする機会があり、私が屋台で英語を上手く使えずあたふたしていると、当たり前なのだが店員さんの機嫌が露骨に悪くなってしまった。その時はホストファミリーに助けられ無事に事を終えた。

みんなと接するための優しさであつたんだと。その子とは住んでいる場所が近いという事もあり、塾が一緒だった。今までのこともあり話しかけられずにいたのだが、夏期講習期間中に思い切って話しかけてみた。その子は話す努力を続けていて、私もそれと同じようにコミュニケーションを取る努力をしていた。喋れないからという理由で差別するのではなくコミュニケーションを取る努力をすれば、みんなと同じように楽しく過ごすことができるのだ。私は、差別をして諦めるのではなく、頑張っコミュニケーションを取ろうと思う。

※人権作文につきましては、本文をそのまま掲載しております。



東京都小学生科学展



古里小学校6年 平原 那菜さん

古里小学校6年生の平原那菜さんが、1月26日に八王子市の東京たま未来メッセで行われた「東京都小学生科学展」で研究発表をされました。

那菜さんの研究テーマは「海水から塩はどのくらい取れるのか」です。海に行ったとき、海水をなめるとしょっぱかったことから、海水からどのくらいの量の塩が取れるのだろうかという疑問に思ったことが研究のきっかけでした。

研究方法は以下の3つです。
①鹿児島県鹿屋市の海岸で採取した海水から塩を取り出す実験をする。
②インターネットを活用して海水の塩分濃度調査を行う。
③インタビューを通して海水の塩分濃度調査をする。

研究の結果は表のようになります。

	塩分濃度	塩の量
鹿児島県鹿屋市の海水(実験)	2%	20g
地球の海水(インターネット)	3.4%	34g
北極の海水(インタビュー)	3.2%	32g
南極の海水(インタビュー)	3.45%	34.5g

が場所によって違うことが分かりました。また、今回の実験で使った鹿児島県鹿屋市の海水の塩分濃度が2%と低い値が出たのは、採取する前に大雨が降ったことから、その大量の雨水の影響を受けていたからではないかと考えました。

海水から塩を取り出す実験を基に、研究を深めることができませんでした。発表会では、聞き手を

意識しながら分かりやすく発表することができました。

報告

藤田 誠司



♪子ども国際交流音楽祭交流コンサート♪

今年で12回目となる、子ども国際交流音楽祭交流コンサートが令和7年2月6日、奥多摩中学校体育館を会場に、音楽の都・ウィーンから、ウィーンフィルを中心とした一流の演奏家（弦楽四重奏＋フルート＋クラリネット）を招いて実施しました。

また令和7年2月11日には、プリモホールゆとりぎ大ホールにおいて、羽村市・昭島市・檜原村・奥多摩町の4市町村が共同で、各在住の小学校4・5年生及び中学生で編成した合唱団による歓迎演奏と、奥多摩中学校体育館に招いた演奏家の皆さんと交流演奏会を実施しました。



音楽監督 岡部武彦氏による演奏紹介



図書館を活用しよう

2024貸出ランキング

「一般図書」

- 1位 クスノキの女神 (東野圭吾著)
- 2位 俺たちの箱根駅伝 (池井戸潤著)
- 3位 世界で最も危険な男「トラップ家の暗部」 (メアリートランプ著)
- 4位 成瀬は天下を取りに行く (宮島未奈著)
- 5位 異国合戦蒙古襲来異聞 (岩井三四二著)

「児童書」

- 1位 てんぷらばち (まつながもえ作)
 - 2位 がっぴちゃん (高山一実作)
 - 3位 テーマパークのサバイバル生き残り作戦 (ポドアルチング文)
 - 4位 かんたん手芸 フェルトでつくろう (寺西恵理子作)
 - 5位 図書館のひみつ (学研まんがでよくわかるシリーズ)
- ◎館内パソコンやホームページでランキングを見ることができ
ます。

ホームページより

本の予約ができます

■図書館で利用者カードを作りパスワードを発行すれば、ホームページから読みたい本を予約する事ができます。(利用者カードの作成には身分証が必要となります。)もし、読みたい本が奥多摩の図書館にない場合でも東京都の他地域の図書館より借りることが出来ます。

■いずれも図書館窓口にて手続きいたしますので、カウンターまでお越しください。

読みたい本を
さがしてみよう



QRコードより
ホームページに
アクセスできます



古里図書館 ☎(85) 1621
氷川図書館 ☎(83) 8227

【学校式典のご案内】

卒業式

古里小学校

3月25日(火) 午前9時30分

氷川小学校

3月25日(火) 午前9時45分

奥多摩中学校

3月19日(水) 午前9時30分

入学式

古里小学校

4月7日(月) 午前10時30分

氷川小学校

4月7日(月) 午前10時00分

奥多摩中学校

4月8日(火) 午前9時30分

❖教育相談室より❖

【感謝のこころ】

相談員 原島 富子

「パーン！」心地良い音が響きわたる。6年ぶりの快音。そして、心の中で感謝した。

転倒防止、いつまでも自分の足で歩き続けられるようにと町が開設した「にっ古里」での筋トレ指導員の1・2・3・1・2・3・あ

と10秒！の掛け声が疲れた体に突き刺さる。ウォーキングも良いがイメージは大谷選手ばりのトレーニング、しかし決して無理をせず着実に力(筋力)がつく。歳を重ねても、ブランクがあっても楽しんでむことができた。感謝です。

(福祉会館2階にも同様の筋トレ

ルームがあります。)

さて、令和6年度もまとめの時期となりました。子供たちは学校で多くの知識を得て、行事で友だちと協力し合う中から逞しさを身につけ、一回りも二回りも大きく成長することができました。これは決して一人の力ではなく、先生からの励ましや保護者地域の皆様のお力添えがあつてこそなのです。まさに感謝です。

子供たちの描く夢は何だろうか。今、分からなくてもこれからの学びの中からゆっくりとでも着実に力を付け、実現できるよう見守り、応援していきたいと思っています。

【FAX】(83) 2340
【メール】

okusoudan@town.okutama.tokyo.jp

教育委員会の動き

(令和6年5月～令和6年12月)

- ◎5月定例会(5月28日)
・奥多摩町文化財保護審議会委員の委嘱について他一議案
- ◎6月定例会(6月27日)
・専決処分承認を求めることについて(奥多摩町立学校区域外就学の承認について)
- ◎7月定例会(7月25日)
・令和7年度使用中学校教科用図書採択について他一議案
- ◎8月定例会(8月23日)
・令和6年度教育課程の承認について
- ◎9月定例会(9月25日)
・奥多摩町教育文化活動奨励者の決定について
- ◎10月定例会(10月31日)
・教育長・教育課長報告
- ◎11月定例会(11月21日)
・奥多摩町教育支援センター利用の承認について他一議案
- ◎12月定例会(12月24日)
・指定校変更申請の承認について他一議案

おくたまコラム

聞く・みる

「子供が人になる場所」

教育委員 武本 正明

「小学校」～小さな社会へ、公開を待って映画を見ました。東京のどこにでもある小学校の、いつもの風景がドキュメンタリーになったのです。演出はありません。友達とふざけて、一緒に笑い合う子供たちが、ありのままにつづられていきます。

入学式のお迎え演奏の練習で、注意された一人が泣いてしまいました。怖いからと次の練習に参加できないでいると、担任の先生が「先生も一緒に怒られるから大丈夫よ。」と促します。恐る恐る参加する子と、それを見守る先生。思い切ってシンバルを叩きます。演奏が終わりました。急いで駆けていくと、担任の先生に後ろから抱きつきました。次の瞬間、いつもの1年生に戻って、満面の笑顔です。

学校は、子供が人として育ち合う小さな社会なのです。



食育授業よりわさびコロッケご紹介!!

12月11日の給食に、「わさびコロッケ」が登場しました。

わさびコロッケは、古里小学校の3年生が、授業の中で考えてくれたメニューです。考案だけでなく、試作も行い、給食提供に向けて準備しました。当日は、試作したレシピを基に、基本のポテトコロッケに、奥多摩産わさびの茎の塩漬け（みじん切り）とコーンを入れて、給食センターで手作りしました。

子供たちは、「コロッケおいしかった」「辛くなかった」という感想を伝えてくれました。給食時間には、奥多摩町議会議員の皆さんも、小学校で子供たちと一緒に給食を食べました。「わさびの風味がした」「わさびコロッケを定番にしたい」といった感想をいただきました。

学校給食センター

栄養士 谷口 菜々実



わさびコロッケ



考案した古里小3年生の試作&給食の様子



〈当日のメニュー〉
コッペパン、牛乳
わさびコロッケ
わかめサラダ
コンソメスープ

いいですね!



西多摩広域行政圏スポーツフェスタ

11月16日に、第33回西多摩地域広域行政圏スポーツ大会スポーツフェスタを開催しました。

このスポーツフェスタは、誰でも気軽に楽しめる「参加型イベント」として、世代間交流を促進し、ニュースポーツの普及・啓発等につなげることを目的として毎年実施しています。

今年は青梅市・奥多摩町が主幹となり、住友金属鉦山アリーナ青梅の体育館を会場として、ボッチャ・ドッジビー・ラダーゲッター・ペタンク・モルック・スポーツ輪投げ・卓球バレー・ブラインドサッカーと計8種目を実施しました。

当日は奥多摩町含む8市町村のスポーツ推進委員や、担当職員の皆さんのご協力により、252人の方々が参加し、小さなお子さんから高齢者の方が、一緒に楽しんで過ごしていただきました。



西多摩地域のキャラクターたち



ブラインドサッカー（奥多摩町担当）



卓球バレー（瑞穂町担当）



ボッチャ（青梅市担当）